

	クラスタシステム	高信頼 FTモデル
冗長化の範囲	○ ハードウェア/ソフトウェアを含めた高可用性を実現	△ハードウェアのみ
障害時の業務切り替え時間	△数分～数10分	○ ほぼ0(ゼロ)
ミドルウェア、アプリの対応	△クラスタ対応が必要	○ 不要 (ソフトウェア障害対応は不可)
最大物理CPU数	○ 4 (通常サーバと同等)	△1
性能	○ 通常のサーバと同等 (運用待機)	△通常のサーバよりも低下
導入の容易さ	△専門的な技術が必要	○ 容易 (プレインストール済み)
システム設計	△専門的な技術が必要	○ やさしい
保守	△サポート契約必須。障害時の復旧作業は、運用管理者の対応も必要	○ハードウェア障害に対してはハードウェア保守員が対応
費用	△高価 (640万円～)	○ クラスタに比べて安価 (290万円～)